

美術による学び研究会 静岡大会

静岡大会ではテーマを「造形活動における対話～意味生成的な学び～」としました。
 「美術の学び」とは、描き方を習うことでもなく、つくったり、見たりすることを通して豊かな心を育むことでもなく、それらすべての造形活動を貫く「意味生成的な学び」であると考えています。「意味生成的な学び」とは、学びへの参加者が造形活動の中で教材や作品、教師や学芸員、仲間との対話を通して様々な意味を捉え、結びつけ、つくりかえることによって新たな意味を獲得することです。

表現活動では、未分化な「自分の思い」や「表現欲求」を自分なりに表現し合い、鑑賞活動では、目に映るもの、心に感じるものを表出し合う中で他者と関わり視野を広げ、新たなものの見方・考え方を獲得していきます。つまり、指導者から一方的に与えられる意味を獲得するのではなく、対話を通して子どもたちが自ら新たに作り出す意味を獲得していく学びなのです。自己との対話、作品との対話、他者との対話など、様々なヒト、モノ、コトとの対話を重ねていくことで、新たな意味を獲得していくのです。

ただ、造形が見映えのよい作品をつくることを目指す手段であったり、意味を伝えるのが指導者の仕事であったりする根強い旧来の一般論からは、なかなか抜け出せずにいるのが学校や美術館の実情でしょう。

そこで、研究テーマを「造形における対話～意味生成的な表現と鑑賞～」とし、具体的な処方について考えてみたいと考えています。私たちが造形活動を構想する際、どのような対話を設定することが求められるのか。また、どのように「意味生成的な学び」を組織したらよいのかを、豊富な実例をもとに2日間で追求したいと思います。

日 会 定 費 日
会場 令和6年11月2日(土)・3日(日)
 静岡県立美術館 (〒422-8002静岡市駿河区谷田53-2)
 芹澤銈介美術館 (〒422-8033静岡市駿河区登呂5丁目10-5)
 駿府の工房 匠宿 (〒421-0103静岡市駿河区丸子3240-1)

大会テーマ 造形活動における対話～意味生成的な学び～

- 講演 1 上野 行一氏 (美術による学び研究会 代表)
「美術鑑賞による学びについて」
- 講演 2 新野 貴則氏 (山梨大学大学院総合研究部教育学域 教授)
「意味生成としての学びの構造」
- 講演 3 古岡 秀樹氏 (才能開発教育研究財団 副理事長)
「人新生のアート教育 (アート思考)」

懇親会 草薙 茄兵衛 (〒424-0886 静岡市清水区草薙一丁目26-1)
参加費 *振込後に参加費等の返金はできません。

	参加費*1 (事前申込のみ)		懇親会 2日(土)	お弁当(2日目のみ)
	両日参加	1日参加		
会員・一般	3,000円	1,500円	6,000円 (税込み)	1,500円
学生	1,500円	5,00円		

2日目ワークショップ (対話型鑑賞・ギャラリーツアー・伝統工芸体験)					
静岡県立美術館		静岡市立芹澤銈介美術館		駿府の工房 匠宿	
対話型鑑賞1 <特別展> 無言館と、 かつてありし信濃デッサン館	対話型鑑賞2 調整中	ギャラリーツアー <特別展> 芹澤銈介没後40年記念展 型染色と模様の翼	模型制作 トリケラトプス	お茶染め抜染体験 お茶染め 抜染ミニトート	駿河竹千筋体験 ペン立てこはる
無料 (15名)	無料 (20名)	無料 (12名)	2,000円 (20名)	3,000円 (4名)	2,200円 (4名)

〔2日目ワークショップ〕
静岡県立美術館学芸員 川谷承子氏による対話型鑑賞体験

日 会 定 費 日
会場 令和6年11月3日(日) 13:30～ (13:20にエントランスに集合)
 静岡県立美術館 講座室
定員 15名
費用 無料
日程 13:30～14:30 特別展「無言館と、かつてありし信濃デッサン館」対話型鑑賞体験
 14:30～15:30 館内自由見学 (特別展・館蔵品展・ロダン館)

〔2日目ワークショップ〕
浜松市美術館学芸員 島口直弥氏による対話型鑑賞体験

日 会 定 費 日
会場 令和6年11月3日(日) 13:30～ (13:20に講座室に集合)
 静岡県立美術館 実技室
定員 20名
費用 無料
日程 13:30～14:30 「立体作品の鑑賞一体を動かし対話して」対話型鑑賞体験
 14:30～15:30 館内自由見学 (特別展・館蔵品展・ロダン館)

〔2日目ワークショップ〕
静岡市立芹澤銈介美術館学芸員 山田優里氏によるギャラリーツアー

日 会 定 費 日
会場 令和6年11月3日(日) 13:30～ (12:55にエントランスに集合)
 静岡市立芹澤銈介美術館
定員 12名
費用 無料
日程 12:55～ エントランス集合
 13:00～13:30 バスにて移動
 13:50～14:50 「芹澤銈介没後40年記念展 型染色と模様の翼」ギャラリーツアー
 14:50～15:30 館内及び登呂博物館自由見学 (登呂博物館は別途入場料が必要です。)
 15:40～ バスにて静岡駅へ (駿府の工房匠宿経由)

〔2日目ワークショップ〕
駿府の工房 匠宿 伝統工芸体験 (竹千筋・染め・プラモデル)

日 会 定 費 日
会場 令和6年11月3日(日) 13:30～ (12:55にエントランスに集合)
 駿府の工房 匠宿
定員 模型制作：トリケラトプス制作 20名
 お茶染め：お茶染め抜染ミニトート制作 4名
 駿河竹千筋：ペン立てこはる制作 4名
費用 模型制作：2000円 お茶染め：3000円 竹千筋2200円 (税込み)
日程 12:55～ エントランス集合
 13:00～13:50 バスにて移動
 14:00～15:30 伝統工芸体験模型制作(90分) お茶染め(20分) 竹千筋(30分)
 14:50～15:30 館内及び登呂博物館自由見学 (登呂博物館は別途入場料が必要です。)
 16:00～ バスにて静岡駅へ

■日程・内容

〔1日目〕 11月2日（土）

11:20~11:40	受 付〔大ホール前〕		
11:40~12:00	開会式〔大ホール〕		
12:00~12:30	講演30分	講演 「美術鑑賞による学びについて」	上野 行一 (美術による学び研究会 代表)
12:35~13:05	講演30分	講演 「意味生成としての学びの構造」	新野 貴則 (山梨大学大学院総合研究部教育学域 教授)
13:10~13:35	発表25分	いろいろなようかい大行進！？ ～身体で作品を鑑賞する3つの試み～	有川 貴子 (浜松市立中ノ町小学校 教諭)
13:40~14:05	発表25分	3つの鑑賞活動における生徒の変容	太田 康子 (静岡市立清水第七中学校 教諭)
14:10~14:35	発表25分	新しい時代に対応する授業をめざす映像メディア表現 ～SNSアイコンコレクションとARフォトフレーム～	片瀬 美里 (静岡県立駿河総合高等学校 教諭)
14:40~15:05	発表25分	障害のある生徒たちの表現の魅力と卒業後の居場所	松本 進 (静岡県立富士特別支援学校富士宮分校 教諭)
15:10~15:35	発表25分	伝統工芸と施設のあり方	杉山 浩太 (駿府の工房 匠宿 館長)
15:40~16:05	発表25分	教育普及プログラムの実施を前提とした展覧会づくり ～みほとけのキセキⅡ・ひっぱりだこ展の事例から～	島口 直弥 (浜松市美術館・浜松市教育委員会 指導主事兼学芸委員)
16:10~16:35	発表25分	理科の授業における美術との教科横断的な指導法 ～米国のSTEAM教育の視点から～	原 浩輔 (静岡市立清水第一中学校 教諭)
16:40~17:05	発表25分	地域と繋がり、地域に想いをのせる授業	榎 真依子 (静岡市立清水第一中学校 教諭)
17:10~17:15	連絡5分	事務連絡	
17:15~19:00	移動105分	懇親会会場へ移動	
19:00~21:00	懇親会120分	□懇親会 会場：草薙 茄兵衛〔静岡市清水区草薙一丁目26-1〕	

※1日目は昼食の時間を設けてありませんので、昼食をとってからお越しください。

■日程・内容

〔2日目〕 11月3日（日）

10:00~10:10	受 付〔大ホール前〕		
10:10~10:40	講演30分	講演 「人新生のアート教育（アート思考）」	古岡 秀樹 (才能開発教育研究財団 副理事長)
10:45~11:10	発表25分	眩きが膨らむ表現活動	石垣 拓磨 (静岡市立西奈小学校 教諭)
11:15~11:40	発表25分	語り合いで学びを深める美術の授業	萩原 彰彦 (静岡市立大川小中学校 教頭)
11:45~12:10	発表25分	作品、作家解説入れる？入れない？対話型鑑賞の成果と課題	川谷 承子 (静岡県立美術館 学芸員)
12:15~12:20	連絡5分		
12:20~13:00	昼食40分		
13:00~	移動	芹澤銈介美術館・駿府の工房匠宿へバスにて移動	
13:30~15:00	ワークショップ90分	川谷承子氏による対話型鑑賞 特別展「無言館と、かつてありし信濃デッサン館」	
13:30~15:00	ワークショップ90分	島口直也氏による対話型鑑賞 「立体作品の鑑賞一体を動かし対話してー」	
13:30~15:30	ギャラリーツアー	芹澤銈介美術館ギャラリーツアー「芹澤銈介没後40年記念展 型染色と模様の翼」	
14:00~15:30	伝統工芸体験	駿府の工房匠宿 伝統工芸体験「模型制作90分・お茶染め20分・竹千筋30分」	
15:40・16:00	移動	バスにて静岡駅へ移動	

主 催 美術による学び研究会
静岡県立美術館

後 援 静岡県教育委員会
静岡市教育委員会